

意識変革委員会

基本方針

会員交流グループ

意識変革委員会 委員長 藤波誠司

鳥栖 J C は、少数精鋭としてメンバー同士の結束が強まりつつあるものの、鳥栖というまちのポテンシャルを活かした運動に全メンバーが結束し積極的に活動に参加できていない現状があります。これらの問題解決に向け、総会・例会を意識向上や意思統一、メンバー同士の結束を強めるとともに、まちの特色を活かした運動を共有する場と捉え、一人ひとりの成長へとつなげながら有事における防災拠点都市鳥栖の未来を描く必要があります。

まずは、総会・例会をメンバーの意識変革のスイッチを入れる場とするために、J C プロトコルに注力したメリハリをもった厳格で他の委員会等の模範となるセレモニーを開催することで、緊張感を感じる総会・例会を実施します。そして、鳥栖 J C を地域に力強く運動を発信できる組織とするために、メンバー同士がそれぞれの経験や学びを共有する機会を作ること、メンバー同士の結束力を高めます。さらに、例会事業をメンバーの自己成長の場とするために、目的意識をもって臨めるよう事業の趣旨を説明するなど案内を徹底することで、必ず1つメンバーの成長につながる機会を提供します。また、メンバーの総会・例会への出席及び各種事業への参加意識を向上させるために、会員交流から結束力の向上につながる事業を実施し、共に運動する仲間達をフォローする意識を醸成します。そして、近年多発する自然災害に対し交通の要衝として「救済のまち」の役割を果たすために、災害時に各種団体と情報共有を図る体制や災害支援ネットワークを構築し、メンバーに防災に関する意識を共有する事業を実施することで、防災の知識と意識を醸成します。

「和」を尊ぶ地域リーダーとして、メンバー一人ひとりが責任と自覚を兼ね備えた人材となり、相互扶助の精神を習得した鳥栖 J C が、「救済のまち」鳥栖を防災拠点都市としての役割を果たすまちに成長させ、その力を十分に発揮できる力強い組織へ発展させます。

<職務分掌>

1. 意識変革のための総会・例会の実施
2. 会員交流から結束に繋がる事業の実施
3. 防災拠点として実働できる防災研修の実施
4. 会員拡大の実施（全員）
5. 各種大会への積極的な参加（全員）